

「日本人の食事摂取基準」策定検討会 開催要領

1 目的

「日本人の食事摂取基準」は、国民が心身を健全に発育・発達させ、健康の保持・増進、生活習慣病の予防、エネルギー・栄養素欠乏症の予防及び過剰摂取による健康障害の予防を目的として、エネルギー及び各栄養素の摂取量の基準を示したものである。

現在、使用されている「日本人の食事摂取基準（2005年版）」は、平成21年度までの間、使用するものであることから、平成22年度から使用する「日本人の食事摂取基準」の検討及び数値の策定を行う必要がある。

このため、「日本人の食事摂取基準」の検討及び数値の策定、現場での活用に関する検討を目的として、厚生労働省健康局長が本検討会を開催するものである。

2 組織

- (1) 構成員は若干名で構成し、座長は互選、副座長は座長の推薦により各1名置く。
- (2) 検討会の下に、別添のとおりワーキンググループを開催し、各々若干名で構成する。
- (3) 構成員等は、「日本人の食事摂取基準」の策定報告までの間、本検討会に参画する。

3 検討内容

国民の栄養状態の推移や、国内外における栄養学等の最新の知見や食事摂取基準に関する国際的な動向を踏まえ、

- (1) 「日本人の食事摂取基準」の数値の策定
- (2) 「日本人の食事摂取基準」活用の検討を行う。

4 事務局

検討会の庶務は、健康局総務課生活習慣病対策室が行う。

5 その他

この要領に定めるものの他、検討会の運営に関し必要な事項は、座長が健康局長と協議の上定める。

(別添)

ワーキンググループ

- ・ エネルギー
- ・ 炭水化物
- ・ たんぱく質
- ・ 脂質
- ・ 水溶性ビタミン
- ・ 脂溶性ビタミン
- ・ 微量元素・ミネラル・電解質
- ・ 基準体位・栄養解析
- ・ 妊婦・授乳婦・乳幼児（雇用均等・児童家庭局母子保健課が庶務を行う）
- ・ 高齢者
- ・ 活用

「日本人の食事摂取基準」
策定検討会及びワーキンググループとりまとめ メンバー表

食事摂取基準策定検討会 構成員

氏名	所属
春日 雅人	国立国際医療センター研究所所長
佐々木 敏	東京大学教授
柴田 克己	滋賀県立大学教授
田畑 泉	独立行政法人 国立健康・栄養研究所 健康増進プログラムリーダー
中村 丁次	神奈川県立保健福祉大学教授
森田 明美	独立行政法人 国立健康・栄養研究所 栄養疫学プログラムリーダー
吉池 信男	青森県立保健大学教授

(50音順、敬省略)

食事摂取基準ワーキンググループ (WG) 代表者名簿 (案)

WG 名	氏名	所属
エネルギーWG	田畑 泉	独立行政法人 国立健康・栄養研究所 健康増進プログラムリーダー
炭水化物WG	山田 和彦	独立行政法人 国立健康・栄養研究所 食品保健機能プログラムリーダー
脂質WG	江崎 治	独立行政法人 国立健康・栄養研究所 基礎栄養プログラムリーダー
たんぱく質WG	木戸 博康	京都府立大学教授
脂溶性ビタミンWG	岡野 登志夫	神戸薬科大学教授
水溶性ビタミンWG	柴田 克己	滋賀県立大学教授
ミネラル・微量元素・ 電解質WG	江指 隆年	聖徳大学教授
基準体位・栄養解析WG	横山 徹爾	国立保健医療科学院 研究動向分析室室長
妊婦・授乳婦・乳児WG	吉池 信男	青森県立保健大学教授
高齢者WG	森田 明美	独立行政法人 国立健康・栄養研究所 栄養疫学プログラムリーダー
活用WG	佐々木 敏	東京大学教授